

### 第3回 市立特別支援学校検討委員会

- 日 時：平成23年11月8日 午後7時から
- 場 所：魚沼サンティックスクール
- 出席委員：11名
- 事務局：南雲教育部長 隅谷学校教育課長 内山指導主事 大塚主幹  
中澤塩沢給食センター長 金井主事 野澤設計士

#### 議 事

##### ○開会

**部長** 皆様お忙しい中、毎回会議が遅くまでかかって迷惑をおかけしていますが、南魚沼市が思い切って取り組んでいる事業でありまして、こういう進め方しかないとも思うのでご容赦願いたい。

前回長岡市立養護学校を見てほしいとのことだったので見学に行ってきた。すばらしい建物だった。だが長岡、新潟に比べて小さい南魚沼市が小・中・高等部までの支援学校を設置することはかなりの英断だと思っている。施設的には不満足なところもあると思うが、打合せを一生懸命やって、少しでもいい形で進めて行きたいと思うのでよろしく願います。

**課長** 前回からの修正部分をまず説明します。

**設計士** 生徒がすべて管理棟から入ることなので、下駄箱を設置した。管理棟に関しては変更があったのはここだけ。

教室棟1階について、前は玄関だったところを保健室とした。玄関は元の位置に戻した。下の方側に入口のドアがあったが、ひさしをつけるという話があったので廊下の長さを縮めて玄関の戸を中央より廊下側に持ってきた。エレベーターについて、大きさ等は変わっていないのだが、前回構造の面で見逃した点があり少し廊下側にずらした。これによって男子のトイレが広くなり、2、3階は教材室が広がった。これによる悪い影響は無いと思う。トイレは前回より余裕が出てきた。今までドアだったものを引き戸に変えた。階段について、段を増やした。各教室に汚物流しを新設した。それについて、今まで洗面の部分は廊下側につけていたが、汚物流しの場合勾配の関係で廊下側にはつけられなかった。それで図面のように窓側につけた。

教室2階について、長岡市立養護学校を見に行ったところきちんとした部屋ではないのだが父兄の皆さん方が談話できる部屋として和室があって、そこが実習室みたいなのだが流しがあってお茶が飲めるようになっていた。2階の会議室、実習室と書いてある部屋はそ

ういった部屋のつもりで書いた。前回保健室だったのだが保健室を下にずらして空いたので、どうせ排水をもってくるならここをそういった部屋にしてもいいのかなと思い、こういう書き方にした。それから、汚物流しは1階と同じように各部屋の窓側につけたのだが、これをつけることによって金額がものすごく変わる。どうしても2,3階の各教室に汚物流しが必要なかどうかを検討してほしい。階段の踊り場について、今までは踊り場に3段くらいの段があったが1段にしたので他の部分に段が増えた。そのため、この前までは防火ドアで対応していたが、2階は防火ドアで対応できなくなり、防火シャッターになった。シャッターが下りた時でも図書室側にドアをつけて出られるようにした。

3階について、2階屋上部分に手すりをつけて出られるようにした。ただし、一旦階段を上がってから今度は下が入る形になるのはご了解願いたい。

**部長** 次に小出特別支援学校の先生方が協議した内容の中で、トイレについてと教室内の水まわりについての内容を説明していただきたい。

**委員** 1階トイレについて。汚物処理シンクはシャワールーム内のほうが機能的に使えるのではないかというのが1点。次に男子トイレと併用トイレの位置を入れ替えて、男子・女子両方から入れるようにできれば使い勝手がいいのではないかというのが1点。女子トイレの便器の位置と入口の位置を入れ替えれば両方から入れるようになるのでは。洗濯機の位置についても、併用トイレの近くに置いた方が機能的に使えるだろうというのが1点。以上3点だった。2,3階トイレの仕様については、重複学級の位置を固定せずに将来的に2,3階にもと考えると1階と同様の仕様で設置するのが良いのではないかという意見だった。

次に教室内の水まわりについて。児童生徒が手洗い歯磨きなどをすることを考えると蛇口が一つでは厳しいので複数の蛇口を設置したほうが良いし、雑巾等汚水の始末ができる場所が必要だろう。寒い地域なので普通学級にも温水器があればありがたい。作業室の水盤はある程度の広さが必要であるし、作業内容によっては温水器が必要になるだろう。以上。

**設計士** シャワールームについて。シャワールームから外へ水が出ないようにするにはどうしても20cmくらいの立ち上がりをつけさせてもらいたい。特に2,3階に作るなら必要。長岡市立養護学校の場合は洗面所の一角にユニットパンを置いてその脇に汚物洗いがついているだけで教室に汚物洗いはついていない。先ほども言ったが2,3階の教室に汚物洗いは必要なのだろうか。また2,3階にシャワールームをつける場合、図面にあるPSという部分は動かさないで今までの便器の位置などはすべて変えてやらないといけない。そうすると床に水を流して掃除をするという考え方は不可能になる。モップを使った掃除になる。防水をやり直す場合、トイレ周りをすべて壊してやりなおさないといけないので厳しい。

部長 何点か確認するが、バリアフリーにするということは今ある段差をなくして水洗いではないタイプに変えるということ。次に汚物処理シンクはシャワールーム内の方がいいということだが図面はそうなっていると思うのだが。

設計士 汚物処理シンクについては前回そういう話がでたのでそうした。

委員 男子トイレと併用トイレを入れ替えることで、男女どちらからも併用トイレに入れるようになる。男子トイレと併用トイレを入れ替えるのは可能なのか。

設計士 1階は教材室が無いのでいいのだが、2、3階を同じ方法でとなると教材室をつぶさなければならないので教材室がなくなってしまう。また、教材室との壁はコンクリートのため、なかなか厳しい。

部長 申し訳ないがかなり厳しいと思う。次に教室内の水まわりについて、温水は必要だろう。温水は出るようにする。長岡市立養護学校を見たときに教室に汚物流しは無かったということだが、図面に入れてくれという話をして入れてもらった。

委員 ここで言う汚物流しとは便等でなく雑巾の排水等を流すというものでよいか。

設計士 いや便を流せるようなもの。

委員 希望していたのは便を流せるものではなくて、いわゆる汚水流しのことだった。

設計士 それならできる。水飲みが二口とそのほかにモップ洗いがついているものをつければいいということか。

委員 二口ではなくて三口ではだめか。

設計士 生徒数は6、7人だと思うのだが三口も必要だろうか。

委員 一緒に歯磨き等を指導するとなると三口あると助かる。

内山 その部分はあとでも決められるので、今は大きなところを決めて行こう。

設計士 では、汚物流しを無しにして汚水流しをつける。そうすると、廊下側につけたほうが機能的に使いやすいのではないかと思うので廊下側に設計したい。

それと、お湯の量はかなり使うのだろうか。そうなのであればガスで配管するが、量がたいたことが無いのならば電気温水器のほうが良いと思う。

委員 それほど使わないのではないか。

設計士 では、できれば電気温水器にしようと思うが調べてみる。

委員 鏡もつけてもらおうと助かる

設計士 わかった。

委員 トイレの手洗い場について高さが心配。

設計士 今ある手洗いが良いものだったので残すつもりだったが、それならば壊して新しいものをつけることも考える。

部長 高さはもう一度確認して本当に使えないのか考える。内山先生がさっき言ったように細かいところは仕上げの時点でもう一度話し合うので、大きなところを話し合いたい。

委員 グラウンドやプールについては年次計画でという話があった。難しいとは思っているのだが、体育館の上にプールを作れないか。ダメならば、土地を考えると今の職員駐車場にプールを作ることになると予想されるのだが、前回最後のあたりで組み立て式プールの話が出たが、教室棟の一番南の屋上にそれができないか。

設計士 教室棟の南側屋上は可能といえれば可能。ただ、幅が足りるのか不安。プールサイドも必要だし。

部長 プールの話がでたので、少し。前回ディスプレイの利用について、利用できるように変えて行くと言ったのだが、謝らないといけない。ディスプレイのほうと協議したのだが、オムツをしている、排泄の意思表示ができない、といった場合は新潟県プール条例対象施設のため無理だということだ。申し訳ない。小出特別支援学校から出たディスプレイプール対応についての意見も含めて、プールについて力を入れて検討しなければならぬと思っている。ただ、グラウンドとプールについては動き出してみても並行して引き続き考えようと言うのが市長の考え方だ。まるっきりグラウンドもプールも用意しないというわ

けではないのだが、オープンには間に合わない。当面は組み立てプールとバスでのディスポート利用の併用となる。組み立てプールをどこに置くか、屋上か外か検討しなければならない。プールについては今年度から色々と考えて行きたい。

小出特別支援学校の意見を説明してもらいたい。

**委員** 排泄の自立していない生徒がディスポートに入れない場合、ディスポートか学校に小プールがあることが望ましい。介助者の負担を考えると、小プールとはいえある程度の水深は必要であるし、5人の子どもが入るとなると介助者も含めて10人となるので当然広さも必要になる。スロープも必須だろう。踏み台等で深さに勾配をつけたり、水と便と一緒に吸い込める掃除機を用意したりといったことも必要になるだろう。ディスポートについては、動線上におけるバリアフリーを整備してほしい。段差の無いある程度の広さのシャワールームや非固定ホース式のシャワーヘッド、水にぬれてもよいバギー、ある程度の広さの更衣室あたりも用意してもらえるとありがたい。

**部長** プールについては、これを参考に後日精力的に検討したいと思っている。

**委員** 私がイメージしている保育園等で使っている組み立て式のプールの大きさは外側で、横 370cm×縦 880cm。内側は当然もっとせまくなる。水深は最高で 70cm。そのくらいだと屋上には置けるのだろうか。

**設計士** その大きさなら置けるが、プール以外のもの、例えば屋上に行くための階段やシャワールーム、プールサイド等を仮設となると大変かなと思う。

**部長** プールについては個別に市のほうで叩き台を出すので、今日は建物のほうをメインに話し合ってもらいたい。

**委員** 音楽室と視聴覚室に仕切りができたが、防音のものか。

**設計士** 今ある建物のもので防音ではない。

**委員** 音楽室と視聴覚室を同時に使った場合、音が漏れるとなると同時に使えないと思う。

**部長** 同時に使わないような時間割にしてほしい。防音の可動間仕切りがあればなんとかなるかもしれないが。

設計士 防音の可動間仕切りを使うのは今の状態では無理に近い。音を完全にシャットアウトするとなると壁だけの問題ではなくて、例えば天井裏も完全に仕切らないといけない。

委員 ステージがあってここを大きく使うためには可動式じゃないといけないと思うのだが。

設計士 全部オープンにしないと人数が入らないと思う。有効に使うためには可動式ということになる

内山 ここを視聴覚室やプレイルームにしたのは、体育館が建て替えできると想定してなくて、しかも重複の子は体育館まで移動できないだろうという想定のうちだった。体育館を使うかわりに、音楽をしないときにプレイルームとして活用できないかと考えた。しかし、体育館はしっかりできたとし、エレベーターで移動もできるようになった。なので、音楽をしないときにプレイルームとして活用できますよということ。視聴覚室というのは全校行事のように音楽室を使わないときに使えるというくらいのこと。あまり重視しないでほしい。

委員 図書室について、仕切りはどのような仕切りなのか。取っ払うこともできるのか。

設計士 既製品の置く程度のもので可動式のもの。

内山 図書室というより読書スペースといったイメージ。

委員 先生方の更衣室は2階の男女更衣室になるのか。お茶等を飲める部屋はあるか。

内山 職員の更衣室は管理棟のトイレの隣と、階段の隣を更衣室とする予定。そして、教室棟2階の男女更衣室の部分を男女休養室とする予定。お茶を飲む場合は職員室で。

委員 中学部の更衣室は無いのか。

内山 無い。3階の高等部の更衣室を使ってもらう。

委員 小出特別支援学校では朝着替えていると思うがどうしているのか。

委員 教室を男女に割り振って着替えている。更衣室は無い。

**委員** だんぼの部屋について。六日町小学校のだんぼの部屋のように相談員が常駐しているものを想定すればよいか。

**内山** それでよい。

**委員** 学校以外の保護者の方も自由に出入りできるものか。

**内山** そうだが、学校以外の保護者とは誰か。

**委員** 近隣の小学校の特別支援教室や発達障害をお持ちの方の保護者の方が相談に来ると思う。そう考えると、使う人の立場に立つと体育館の下のスペースのほうが使い勝手がいいのではないかと思う。子どもを連れてきても体育館で遊ばせたりできるし、近くにまきはたの里の方もいる。

**内山** ここで考えているだんぼの部屋は、他の学校の方が来てもらってもありがたいのだが、基本的にはこの学校の生徒の保護者が使いやすいようにというのを一番に考えている。保護者だけでなく児童生徒も使えるようにと考えている。そう考えると、体育館のように離れた場所ではないほうがいい。また送り迎えに来た時に入りやすいということも考えてもここが一番いいと思う。他の学校の方々が来ていただくのはいいが、基本的にはその学校のだんぼの部屋で対応することになるだろう。

**委員** 玄関の外にスロープがあるが、そこに屋根をつけてほしい。雨が降っている時にバスで来るにしても自家用車でくるにしても濡れないようにできないか。

**設計士** 検討する。

**委員** 先生方は教室棟の玄関から入ってくると思うのだが、そこにも下駄箱をつけてほしい。

**部長** 前回、中と外で靴を履き替えるか履き替えないか議論になったが、どうするのか確認したい。

**内山** 前は、冬に長靴で来たときが問題になった。土足に違和感がある人も多いが、土足もいいという思いもある。

**委員** 現場の者からすると、冬の長靴等の問題もあるがそれよりも靴の履き替えも教育の一環であると考えている。今まで靴の履き替えがしっかりできなかった子も指導すること

でできるようになっていく。指導の場を奪わないでほしい。

部長 その意見には納得した。

内山 先生方の下駄箱は、入ってすぐのところに置けばよいのではないか。

設計士 幅が狭い。

内山 では先生方は土足で入って更衣室で履き替えればよいのではないか。

委員 子どもたちが寝転がったり、重複の子たちは床の上に何かを敷いて横になったりといったことが多いのに土足で入るというのはどうかと思う。

部長 下駄箱が置けるのかどうか、洗って入ることも含めて考えておく。

内山 承知しておいてもらわないといけないのは、職業訓練校との共用部分については土足になってしまうところがあるということ。教室棟については職業訓練校の生徒が来るときには履き替えてもらうことができる。

委員 今ここの掃除は業者が行っているのか。学校になったらどうなるのか。

課長 業者が行っている。学校になっても基本的には業者が入るが、校務員もいるし、たまには生徒も含めた皆でやることもあるだろう。

委員 共有の部分についてはどうか。

部長 共有の部分については、特別支援学校を貸すという立場で話をしていこうと考えている。

設計士 長岡市立養護学校では基本的に業者が行っているが、一部分を残しておいてそこを教育の一部として生徒が清掃している。

課長 そろそろ次の内容として、スクールバスについて小出特別支援学校で話し合われた内容を報告してもらいたい。

委員 スクールバスについて。バギー対応の中型 2 台が望ましい。そのうえで、足りない



時には市のバスの貸出も考慮してもらいたい。何人乗りが用意できるのかも聞いておきたい。

課長 前に話した時は 21 人乗りと 10 人乗り。車いす対応については、オプションで決めて行く。1 台大きいのを用意するよりもフットワークがいいだろう。

部長 バスについては、先生方に話を聞きながら市のほうで決めて、こういう形にしようと思うが、と報告する形で進めたい。

課長 通学バスについても併せて考えて行きたい。

部長 通学バスについて、特別支援学校も通常の学校と同じような補助が出るように要望している。だが、皆さんにいくらかの負担が発生する可能性もある。まだ何も決まっていないが、歩み寄りながらいい方法を探っていきたい。

委員 希望すれば湯沢からも乗れるのか。

部長 そうなると思う。

部長 今は保護者主体で足りない部分に市が補助金を出している形だが、今度は市が主体になって運営していく。

委員 重複の子については、今は完全に保護者対応だ。

部長 次に日中一時について。特別支援学級からどれだけの要望があるかわからないとまきはたの里がなかなか検討できないのだが、意向調査はどうなっているか。

内山 先日締切りがあった。8 割程度集まっている。現状では放課後利用したいというのが 10 名程度。その 10 名も現在利用している人だった。支援学級の方の利用を考える時には、そう大きく増えることは考えなくてもよさそう。問題は現在小出特別支援学校に行っている方がどれだけ利用したいか。それが検討の中心。

部長 まきはたの里はそのへんの要望が何人くらいなのかというのがポイントになるようだ。

課長 できるだけ対応したいという方向で考えてきたい。

課長 次に給食関係について

塩沢給食センター長 給食関係について。設備投資が必要になりそう。ただ、車だけ用意して、調理は1回で運ぶことにすればそれほどの設備投資にはならないだろうと思う。お昼の時間は少し遅くなるが、両方で歩み寄れば設備投資も大きくなりたくないだろうと話合っている。新しい学校の時間についても話し合いをしたい。二次調理についても学校の先生ではなくて専門の方についてもらって衛生的にもクリアしてもらえば支障は無いということなので、その方向で進めたいと思っている。

課長 小出特別支援学校には現在何時頃ついているのか。

委員 11:20 頃にきている。

課長 何時頃には来ていてほしいのか。

委員 二次調理を行うだけで30分くらいかかり、さらに重複の子に食べさせて自分も食べるとなるとかなりの時間がかかってしまう。

課長 もう少し調整のために時間をいただきたい。

部長 では次に就労支援カリキュラムについて。

内山 就労支援にとって大切なのは小中学校の時に作業学習をどう組むかということ。従来であれば陶芸や紙すきなど福祉作業所的に物ができる内容になっているが、新しい学校ではそれをゼロから考えている。地域の産業に役立つための、もしくは就労可能な企業で求められる力を付けるための作業学習を組むということを念頭にしている。ではどのような作業学習を組めばいいかということについて、訓練校からノウハウを受けることができるであろう。もしくは、県立の三つの学校でテスト的に職業学級が置かれているので、そこでやっている内容をこちらに取り入れるということも考えている。現在まだ考え中なのだが、遅くとも4月にはグランドデザインのような形で示して、中身の面で勝負ができるように考えているのでこの会の中でも追々話ができると思う。

設計士 しつこいようだが、汚物流しの件が心配なので確認してもよいか。1階の教室の中にも汚物流しはいらぬということよいか。

内山 いないから、シャワー室の中にあるということ。

課長 一通り説明して、ある程度まとまったかと思う。今日はこのへんで。

部長 次の会からは、設計事務所が進めるうえで会の中でこれを聞きたいといったことが出てきた時点で開会の案内を出していきたい。逆に設計事務所に話したいこと聞きたいことがあれば、教育委員会に連絡をしてもらえれば渡していく。そういうことにしていく。これからはだいたい月に1回程度開いていくことになると思う。

○次回の日程

日 時：12月13日（火曜日）19：00～

場 所：サンティックスクール

閉会（20：50）